

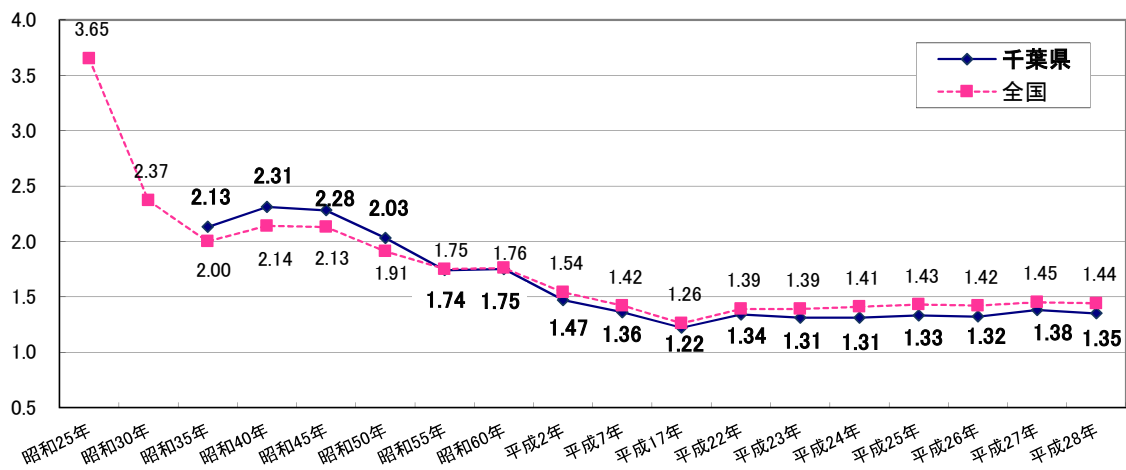
VII 健康

1 出産等に関する状況

(1) 合計特殊出生率の推移

「人口動態統計」によると、千葉県における合計特殊出生率(一人の女性とその年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子どもの数に相当)は、平成22年以降はほぼ横ばいで推移しています。平成28年は1.35で、前年の1.38を0.03ポイント下回りました。

図表77 合計特殊出生率の推移(千葉県・全国)



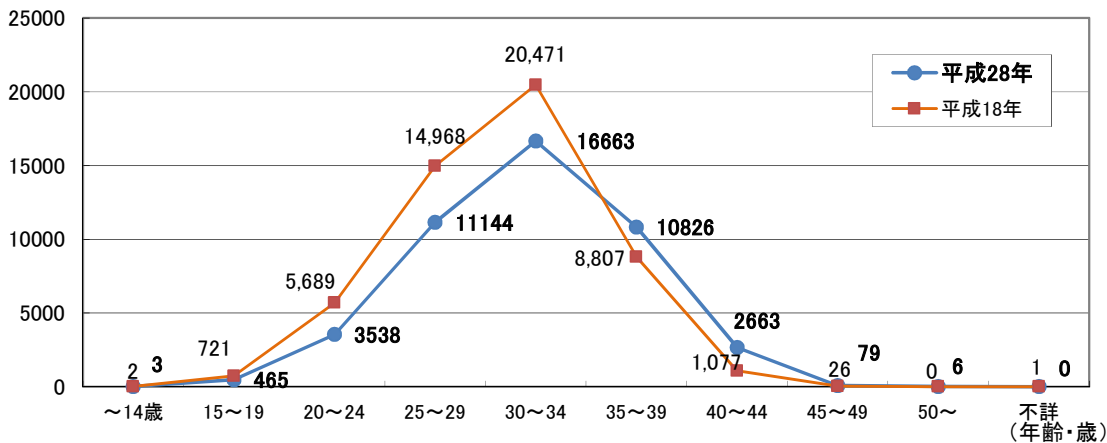
資料出所:厚生労働省「人口動態統計」

(2) 母の年齢階級別出生数の推移

母親の出産年齢と出生数について10年前と比較したところ、平成18年、28年とも30歳から34歳の階級が最も多くなっており、平成28年は20歳～34歳の階級で減少している一方、35歳から44歳の階級が増加しており、出産年齢が上がっていることが分かります。

図表78 母の年齢階級別出生数の推移(千葉県)

(出生数・人)

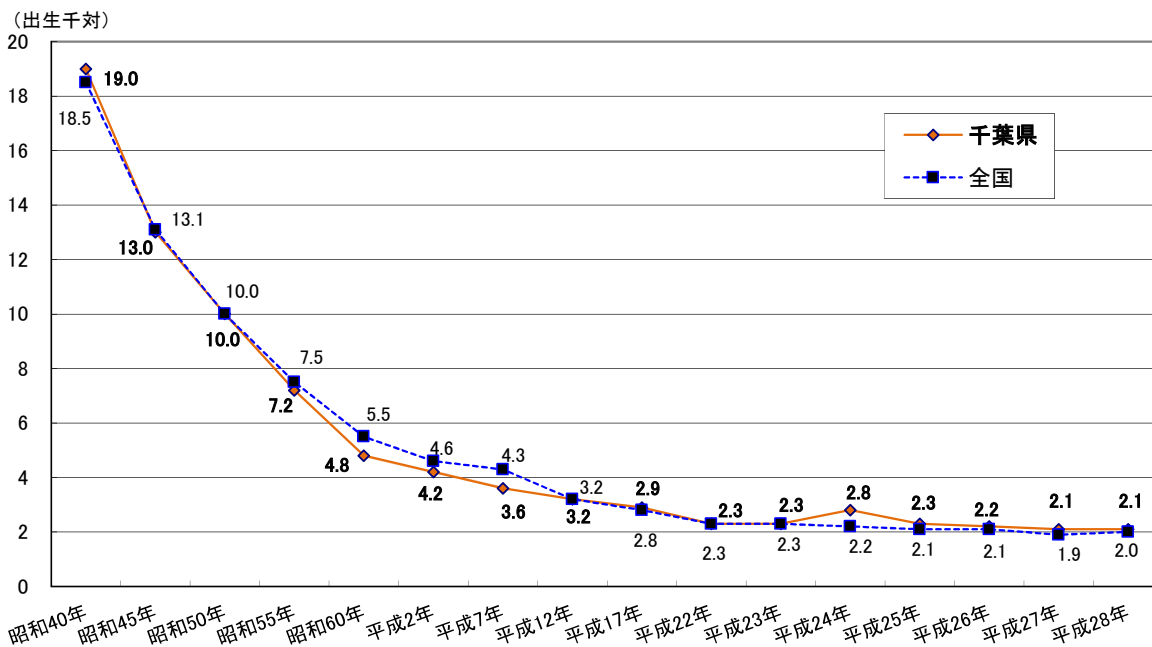


資料出所:厚生労働省「人口動態統計」

(3) 乳児・新生児死亡率の推移

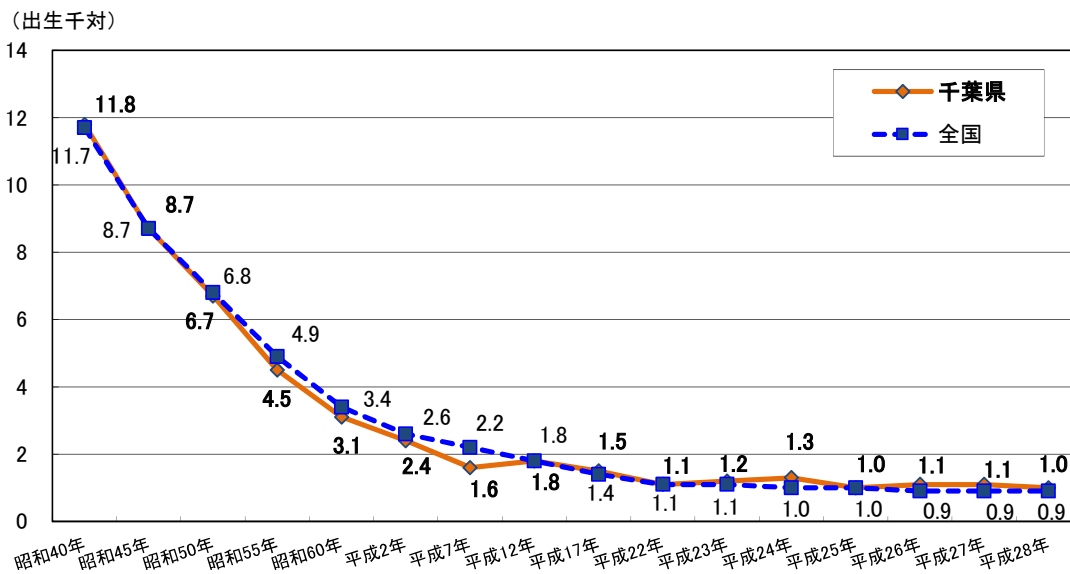
「人口動態統計」によると、昭和50年ごろまで千葉県の乳児死亡率と新生児死亡率はともに急速に低下し、乳児死亡率は平成25年からは2.1～2.3で、新生児死亡率は平成22年から1.0～1.3で推移しています。

図表79 乳児死亡率*の推移(千葉県・全国)



* 乳児死亡: 生後1年未満の死亡
資料出所: 厚生労働省「人口動態統計」

図表80 新生児死亡率*の推移(千葉県・全国)

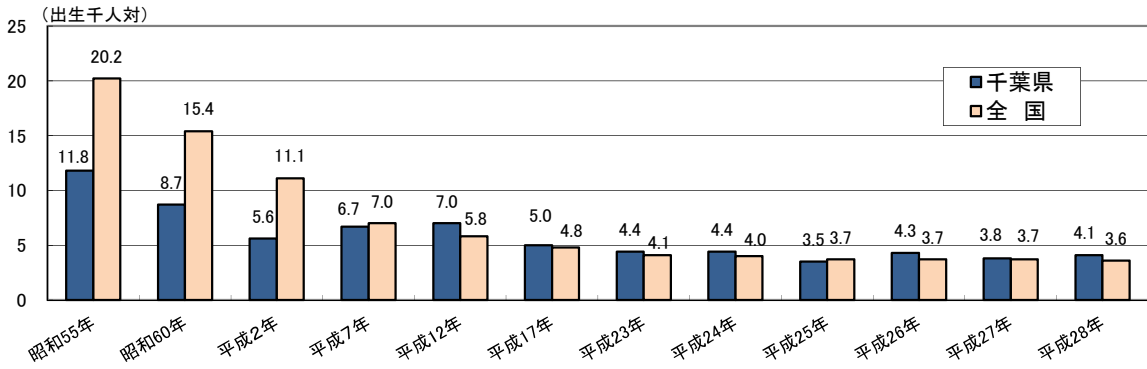


* 新生児死亡: 生後4週間未満の死亡
資料出所: 厚生労働省「人口動態統計」

(4) 周産期死亡率の推移

平成28年の「人口動態統計」によると、千葉県の周産期死亡率は4.1であり、ここ数年はほぼ横ばいです。

図表81 周産期死亡率*の推移(千葉県・全国)



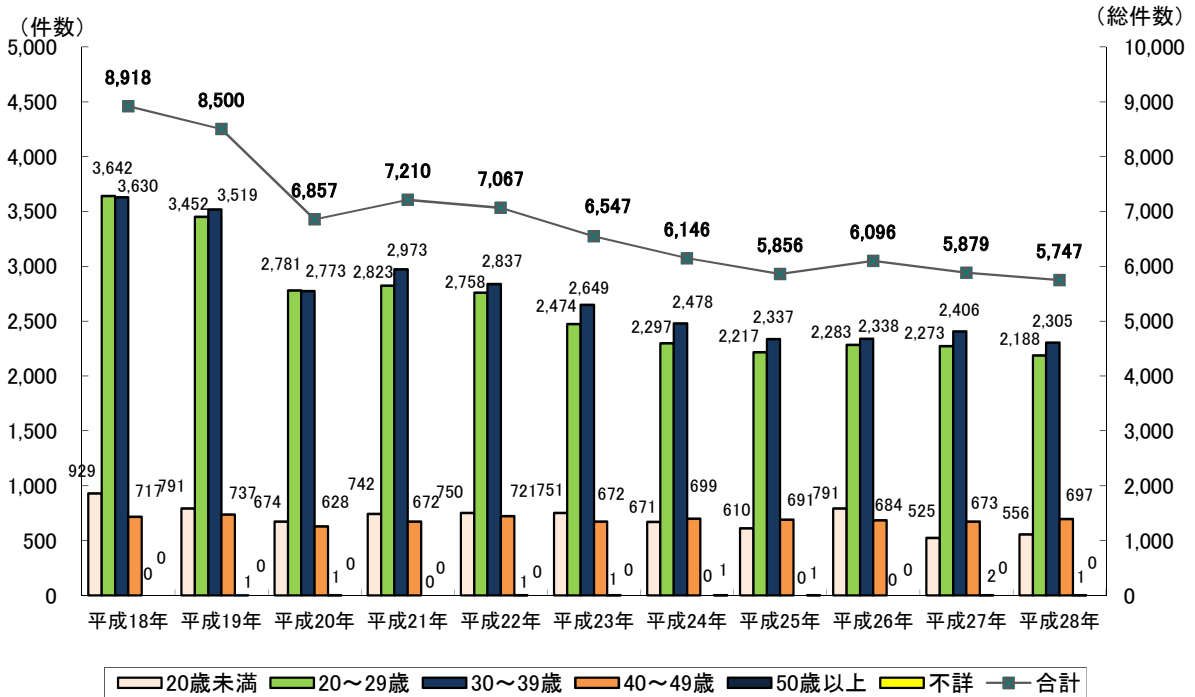
* 周産期死亡率:【年間周産期死亡数】÷【年間出産数(出生数+妊娠22週以降の死産数)】×1,000
 出産1000に対する周産期死亡(妊娠22週以後の死産数に早期新生児死亡を加えたもの)の割合で、国又は地方の産科医療の水準を表す指標の一つとされている。

資料出所:厚生労働省「人口動態統計」

(5) 人工妊娠中絶の状況

「衛生行政報告例」により、千葉県における年齢階級別人工妊娠中絶の状況をみると、平成21年から減少し、平成25年からはほぼ横ばいで推移しています。

図表82 年齢階級別人工妊娠中絶の状況(千葉県)



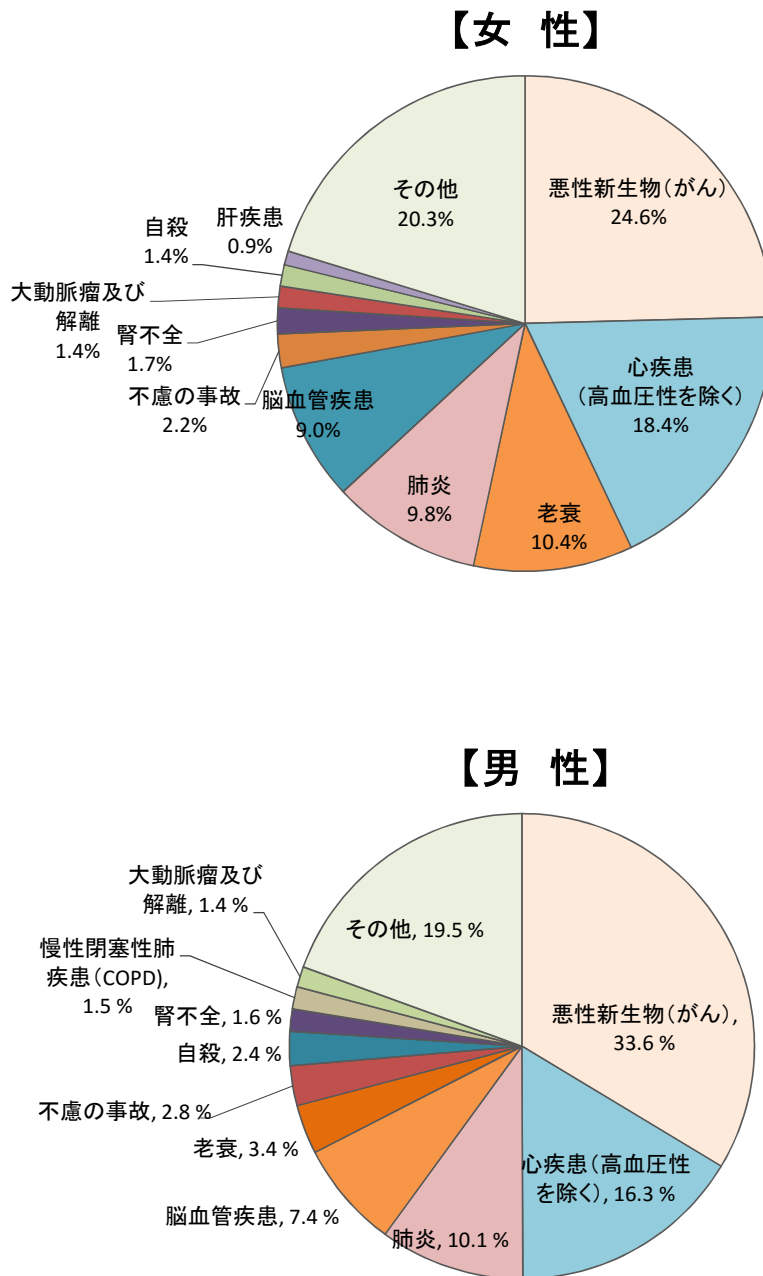
資料出所:厚生労働省「衛生行政報告例」

2 ところとからだの健康

(1) 主な死因の構成割合

平成28年の男女別の死因をみると、男女ともに「悪性新生物（がん）」「心疾患」による死亡が多くなっており、特に男性でその傾向が強くなっています。

図表83 千葉県における主要死因の構成割合（女性・男性別）



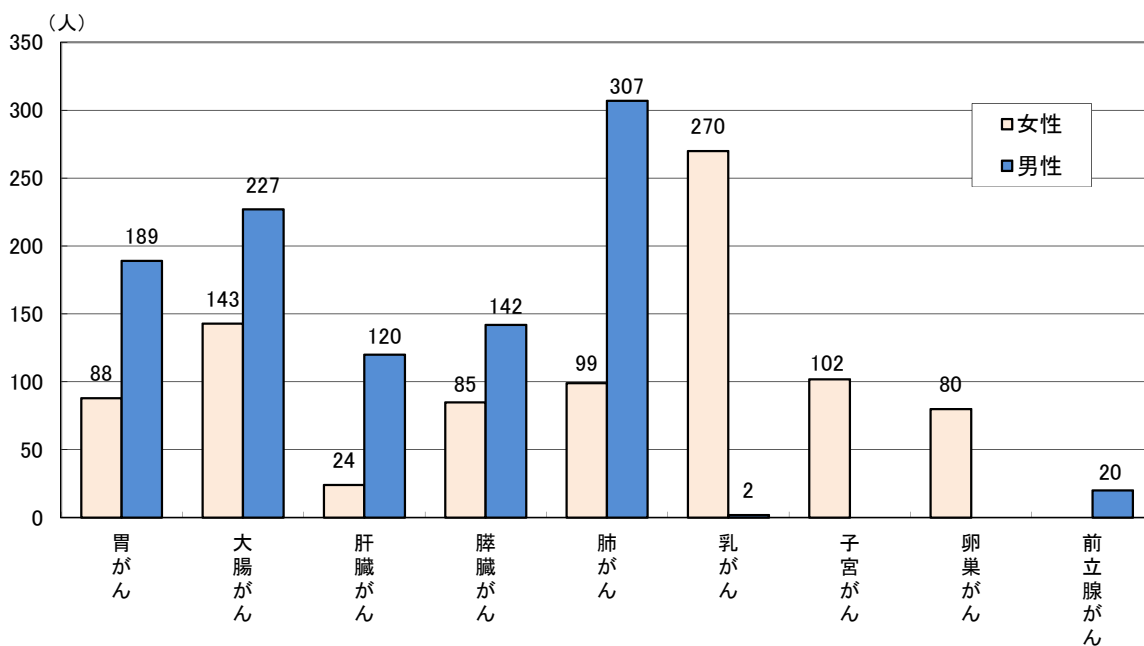
資料出所:厚生労働省「人口動態統計」(平成28年)

(2) 各がんの早世死亡数等

がんについて、平成28年の早世死亡の件数（65歳未満の死亡数）と早世係数（あるがんの全死亡に占める早世の比率）を男女で比較すると、女性は、乳がんが件数において最も多く、子宮がん、卵巣がんとともに女性に特有ながんでは早世係数が他のがんと比較して、高くなっています。

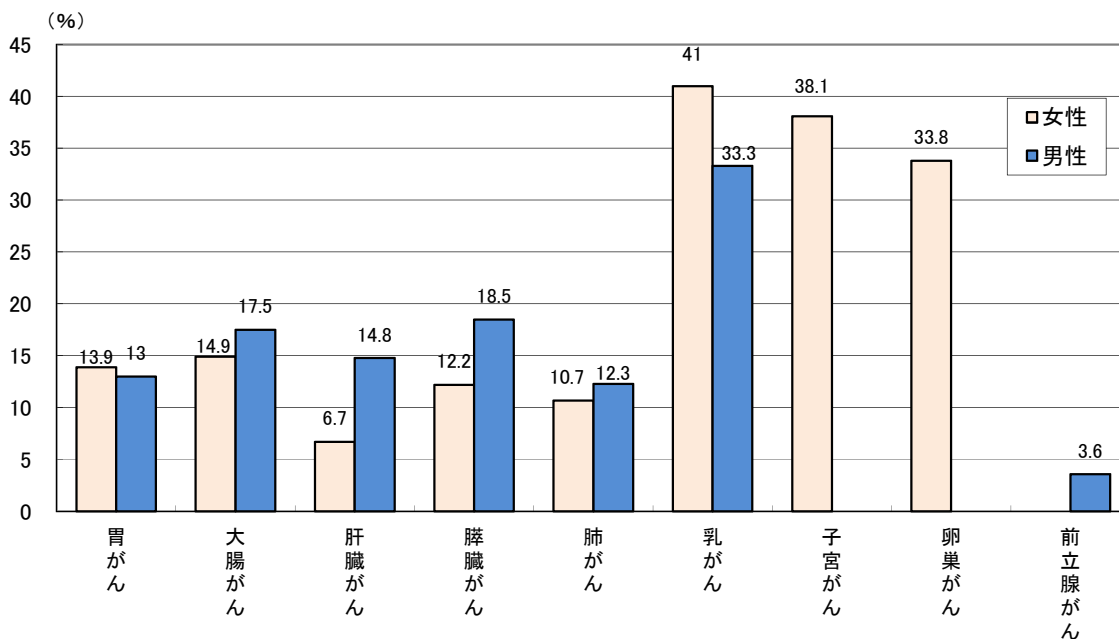
一方、男性では、女性に比べ肝臓がん、膵臓がんが件数及び早世係数のいずれにおいても上回っており、胃がん、大腸がん、肺がんについては早世死亡の件数が多いものの、早世係数に大きな男女差はみられません。

図表84 各がんの早世の件数の男女比較(千葉県)



資料出所: 厚生労働省「人口動態統計」(平成28年)

図表85 各がんの早世係数の男女比較(千葉県)

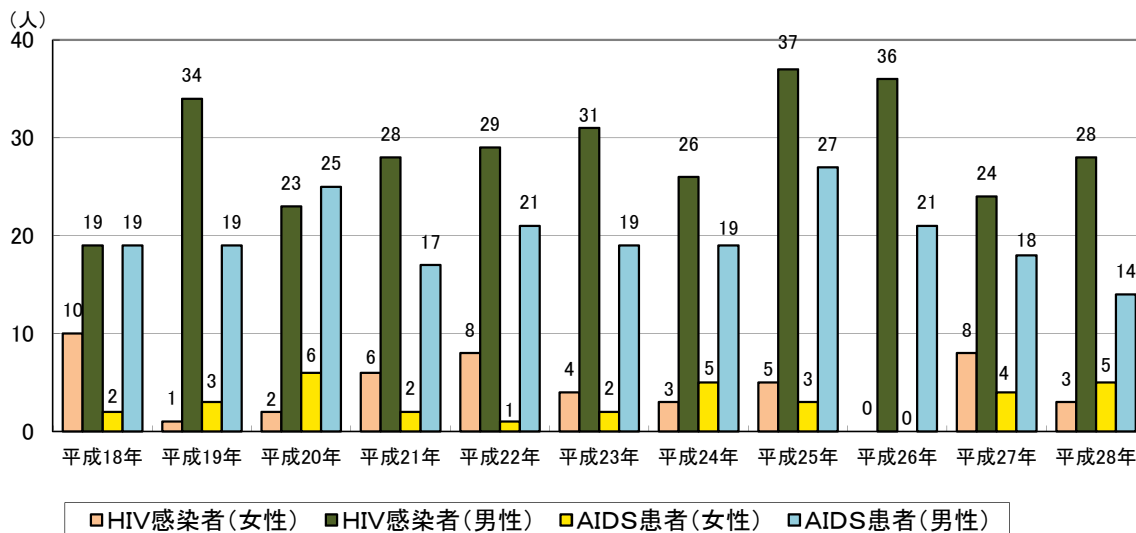


資料出所: 厚生労働省「人口動態統計」(平成28年)

(3) HIV感染者・AIDS患者の数

H I V感染者・A I D S患者の新規届出の約80%以上を男性が占めています。

図表86 男女別HIV感染者・AIDS患者届出状況(千葉県)

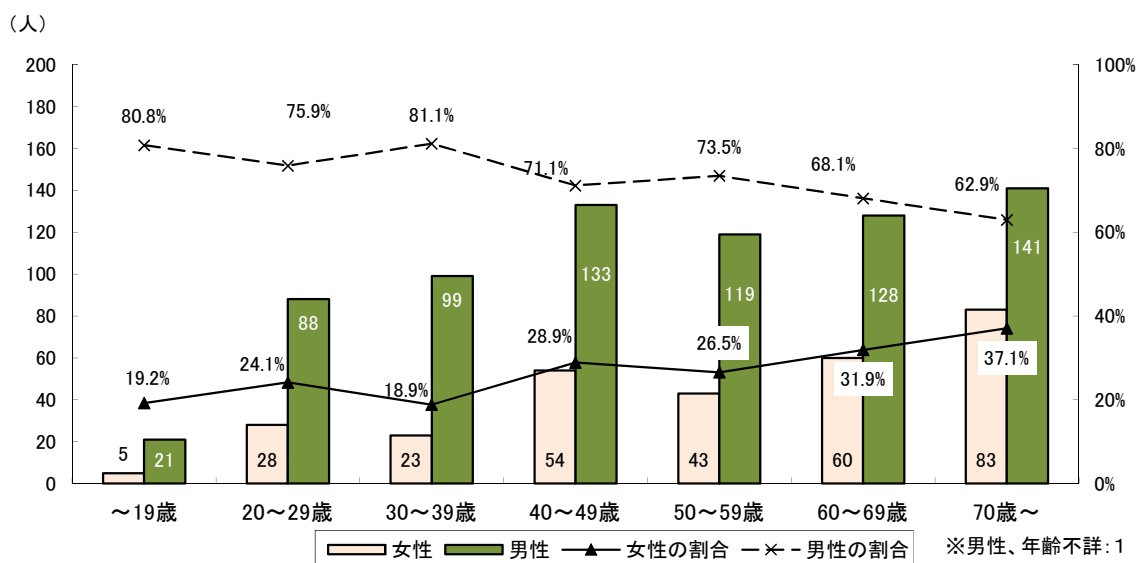


資料出所:千葉県疾病対策課

(4) 自殺者の年齢階級別推移

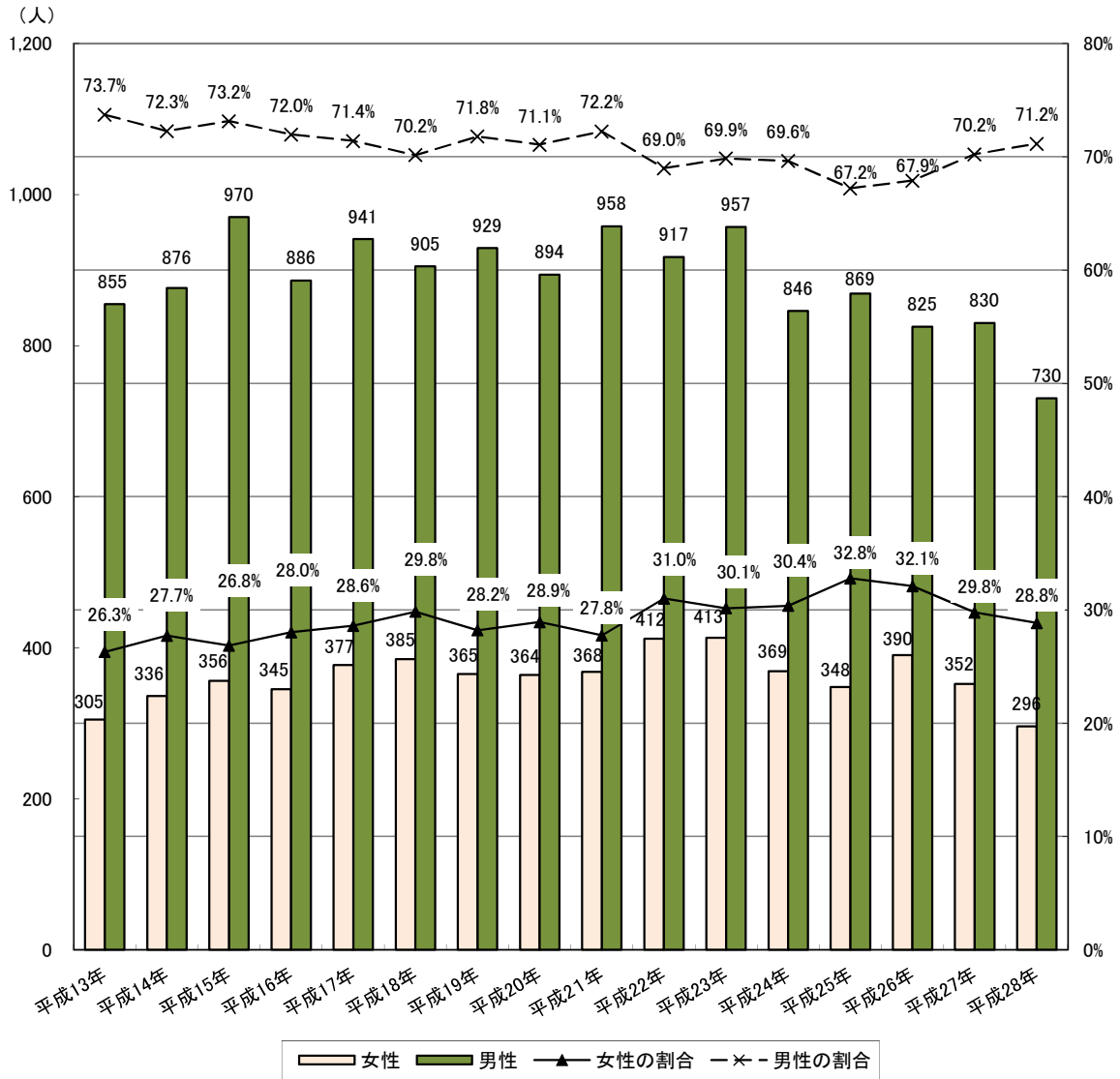
自殺者を男女別にみると、すべての年代で男性の割合が高くなっています。また、自殺者総数の推移をみると、平成25年以降は減少傾向にあります。

図表87 男女別、年齢別自殺者数(千葉県)



資料出所:厚生労働省「人口動態統計」(平成28年)

図表88 自殺者数の推移(千葉県)



資料出所:厚生労働省「人口動態統計」